



平成 19 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山田 健 司  
(コード番号：6269)  
問合せ先 経営企画室長 高野 育 浩  
電話番号 03-5800-6081 (代表)

### 中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2月14日に公表した平成19年12月中間期(平成19年1月1日～平成19年6月30日)の連結及び単体業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当中間期の業績予想の修正(平成19年1月1日～平成19年6月30日)

##### (1) 連結業績予想：

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間期利益
前回発表予想(A)	55,000	2,100	1,200
今回修正予想(B)	72,000	1,900	1,100
増減額(B-A)	17,000	△200	△100
増減率(%)	30.9	△9.5	△8.3

##### (2) 単体業績予想：

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間期利益
前回発表予想(A)	13,000	800	450
今回修正予想(B)	22,000	1,600	850
増減額(B-A)	9,000	800	400
増減率(%)	69.2	100.0	88.9

(注) なお、本年度通期の連結及び単体の業績予想数値は、2月14日に公表した予想数値と変更はありません。

## 2. 修正の理由

当中間連結会計期間の連結売上高につきましては、当初予想を 17,000 百万円上回る 72,000 百万円、単体売上高につきましては、当初予想を 9,000 百万円上回る 22,000 百万円となる見込みです。これは、FPSO 等の建造工事が当初の予想を上回って進捗しており、工事進行基準にて計上する売上高が増加したことなどによるものです。

利益面につきましては、単体経常利益が売上高の増加に伴って当初予想を 800 百万円上回る 1,600 百万円、単体中間期純利益が予想を 400 百万円上回る 850 百万円となる見込みです。一方、建造工事の大部分が当社の持分法適用関連会社向け（当社持分相当の利益をチャーターサービス開始後に計上）であったこと、及び海外子会社において上期に工事費用が発生しているものの売上の計上は下期となる追加工事（下期に利益を計上する見込み）が約 500 百万円あったことなどから、中間期における連結経常利益及び連結中間期利益はそれぞれ 1,900 百万円、1,100 百万円に止まる見込みです。

なお、通期の業績予想につきましては、期末において円貨換算を行うための為替レートや今後の工事の進捗など、不確定な要素が多いため、連結、単体業績ともに現時点での変更は行っておりません。

以 上